



平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名 シミックホールディングス株式会社
コード番号 2309 URL <http://www.cmic-holdings.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長CEO (氏名) 中村 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員(情報開示担当) (氏名) 望月 渉

TEL 03-5745-7070

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	37,249	18.5	2,973	△10.8	2,993	△8.8	1,920	17.0
23年9月期第3四半期	31,440	24.1	3,332	16.8	3,280	15.7	1,641	△0.6

(注) 包括利益 24年9月期第3四半期 1,926百万円 (16.5%) 23年9月期第3四半期 1,652百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	105.56	—
23年9月期第3四半期	91.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第3四半期	43,849	18,341	41.5
23年9月期	39,381	16,908	42.8

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 18,208百万円 23年9月期 16,857百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	265.00	—	17.00	282.00
24年9月期	—	15.50	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	15.50	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成23年4月1日付けで普通株式1株につき20株の割合で株式分割しております。23年9月期第2四半期末の1株当たり配当金については、当該株式分割が行われる前の数値で記載しております。詳細は、次ページの「(株式分割後の配当金の状況についてのご注意)」をご覧ください。

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,400	15.7	4,200	9.1	4,000	7.8	2,300	27.0	126.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

通期の連結業績予想に関する事項については、四半期決算短信 添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期3Q	18,221,860 株	23年9月期	18,221,860 株
② 期末自己株式数	24年9月期3Q	32,760 株	23年9月期	32,560 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期3Q	18,189,160 株	23年9月期3Q	17,919,231 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式分割後の配当金の状況についてのご注意)

平成23年4月1日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割しております。当該株式分割に伴う影響を加味し遡及修正を行った場合の配当状況につきましては以下のとおりになります。

基準日 平成23年9月期 第2四半期末 13円25銭 期末 17円00銭 年間合計 30円25銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 重要な後発事象	11
4. 補足情報	12
受注の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

医薬品業界におきましては、医療費抑制策の推進や、主力製品の特許切れ、世界的な新薬の承認審査の厳格化等の影響により厳しい事業環境が続いております。一方、当社グループが属する医薬品の開発、製造、営業を支援する業界においては、各業務のスピードアップや効率化を目指したアウトソーシングニーズの拡大を背景として、市場規模が緩やかに拡大傾向にあります。

このような環境下において、当社グループは、製薬企業の付加価値向上に貢献する当社独自の事業モデルであるPVC (Pharmaceutical Value Creator) を展開し、CRO (医薬品開発支援) 事業、CMO (医薬品製造支援) 事業、CSO (医薬品営業支援) 事業、ヘルスケア事業、IPD (知的財産開発) 事業において、製薬企業の開発、製造、営業・マーケティングのバリューチェーンを広範に支援しております。

当社は、事業モデルをより明確化し、各事業における意思決定機能の迅速化を図り成長を加速させるとともに、シミックグループの新たな経営体制を確立することを目的として、平成24年1月4日付で当社のCRO事業を会社分割により新設会社となるシミック株式会社に分社し、持株会社制に移行しました。本会社分割後、当社は事業子会社の管理・支配を行う持株会社として、商号をシミックホールディングス株式会社に変更しております。

当第3四半期連結累計期間においては、各事業領域で人材の効率的な活用、受託機会の拡大等を通じた競争力の一層の強化に努めました。CSO事業においては、メディカルコミュニケーション業務 (販促資材企画・制作等) の更なる拡大を目指すため、平成24年5月1日付でグローバルコミュニケーションエージェンシーである株式会社マッキャンヘルスケアワールドワイドジャパン (以下、マッキャンヘルスケア) に対し、当社の完全子会社であるエムディエス株式会社の株式を一部譲渡するとともに、マッキャンヘルスケアの医師・製薬会社学術支援部門をエムディエス株式会社が吸収分割方式により事業譲受する契約を締結しました。また、IPD事業においては、自社開発中の希少疾病用医薬品 (オーファンドラッグ) の承認申請を行うとともに、販売後の安定供給と適切な情報提供・収集体制の構築を図るため、株式会社メディカルホールディングスと希少疾病用医薬品を中心とした医薬品等の開発、製造、販売を目的とした株式会社オーファンパシフィックを合弁で設立いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は37,249百万円 (前年同期比18.5%増)、営業利益は2,973百万円 (同10.8%減)、経常利益は2,993百万円 (同8.8%減) となりました。四半期純利益は、完全子会社であるシミック株式会社がシミックメディカルリサーチ株式会社との合併に伴い同社の繰越欠損金を引き継いだことによる税金費用の減少等により、1,920百万円 (同17.0%増) となりました。

セグメント別の業績の状況は以下のとおりです。なお、当社は持株会社制への移行に伴い、当社 (持株会社) に係る全社費用を各報告セグメントに配分しない方法に変更しております。セグメント別の業績の前年同期比増減額及び率につきましては、当該変更後の算定方法に基づいて比較しております。

[CRO事業]

売上高	13,697百万円 (前年同期比	1,787百万円増、	15.0%増)
営業利益	2,569百万円 (同	116百万円減、	4.3%減)

当事業においては、製薬企業の医薬品開発支援に係る業務を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、モニタリング業務、データマネジメント業務で新規受注の増加とともに既存案件が順調に進捗したこと、また平成23年5月にグループ会社化した非臨床業務を手がける株式会社シミックバイオリサーチセンターの売上が加わったこと等により、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

営業利益につきましては、モニタリング及びデータマネジメント業務は順調に伸長したものの、のれんの償却額の発生および非臨床業務において営業損失を計上したことから、前年同期を下回りました。

〔CMO事業〕

売上高	12,985百万円（前年同期比	2,876百万円増、	28.5%増）
営業利益	1,429百万円（同	195百万円増、	15.9%増）

当事業においては、製薬企業の医療用医薬品及び一般用医薬品などの製造支援及び分析化学サービスに係る業務を行っております。

平成23年10月1日より、シミックCMO株式会社における製造委受託契約の一部変更に伴い、従来無償支給となっていた原材料を自社調達に切り替えたことから、当該原材料費相当額が売上高及び売上原価に計上されております。その影響により、売上高が増加する一方、営業利益率が低下しております。

当第3四半期連結累計期間においては、シミックCMO富山株式会社において特定製品の受注が減少したこと等により、従来契約ベースの売上高は前年同期を若干下回りましたが、株式会社応用医学研究所の分析化学サービスが増加したこと、またシミックCMO株式会社の生産が堅調に推移したこと等により営業利益は前年同期を上回りました。

また、CMO事業の付加価値の向上とともにPVC事業モデルの一層の強化を図るため、シミックCMO株式会社において平成24年3月30日付で第一三共株式会社より治験薬製造施設および製剤研究施設等を譲受け、治験薬サービスを開始しました。

〔CSO事業〕

売上高	4,067百万円（前年同期比	586百万円増、	16.8%増）
営業利益	8百万円（同	167百万円減、	95.0%減）

当事業においては、主に製薬企業の営業・マーケティング支援に係る業務を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、株式会社シミックエムピーエスエスのMR（医薬情報担当者）派遣業務が好調な受注を背景に前年同期に比べ売上高が大幅に増加しました。しかし、MR派遣業務の一部案件で顧客都合によるプロジェクト開始遅れ等の影響があり、営業利益は前年を大幅に下回りました。

また、平成24年5月1日付でマッキャンヘルスケアに対し、メディカルコミュニケーション業務（販促資材企画・制作等）を行うエムディエス株式会社の株式を一部譲渡し、マッキャンヘルスケアの医師・製薬会社学術支援部門をエムディエス株式会社が吸収分割方式により事業譲受する契約を締結しました。

〔ヘルスケア事業〕

売上高	6,883百万円（前年同期比	334百万円増、	5.1%増）
営業利益	553百万円（同	56百万円減、	9.2%減）

当事業においては、SMO（治験施設支援）業務、ヘルスケア情報サービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、SMO業務を行うサイトサポート・インスティテュート株式会社等の売上高は前年同期に比べ増加いたしました。採算性の低いプロジェクトの影響により原価率が上昇し、営業利益は前年同期を下回りました。

〔IPD事業〕

売上高	54百万円（前年同期比	30百万円増、	130.0%増）
営業損失	432百万円（前年同期	営業損失326百万円）	

当事業においては、診断薬や希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）などの開発及び販売に係る業務を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、当社が腎疾患の診断を目的として開発し平成23年8月より保険適用となった体外診断用医薬品「ヒトL型脂肪酸結合蛋白キット（販売名：レナプロ®L-FABPテスト）」に関して、臨床的意義の学術的啓発活動の継続および国内・海外販売チャネルの開発等を推進しております。

また、希少疾病用医薬品については、現在、急性ボルフィリン症治療薬「ヒトヘミン」、尿素サイクル異常症治療薬「フェニル酪酸ナトリウム」、遺伝性血管性浮腫治療薬「エカランタイト」の3剤の開発を進めております。

平成24年2月には「フェニル酪酸ナトリウム」、平成24年3月には「ヒトヘミン」についてそれぞれ承認申請を行いました。また、承認後の製造販売に向けた体制整備の一環として、平成24年5月1日付で希少疾病用医薬品を中心とした医薬品等の製造販売を行う株式会社オーファンパシフィックを、メディパルホールディングス株式会社と合併で設立しました。

当事業の希少疾病用医薬品は開発期間中にあることから、主に研究開発費の計上により前連結会計年度に引続き営業損失が発生しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比で4,468百万円増加し、43,849百万円となりました。これは、主にたな卸資産及び有形固定資産の増加によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末比で3,035百万円増加し、25,508百万円となりました。これは、主に短期借入金の増加及び流動負債のその他に含まれる未払費用の増加によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末比で1,432百万円増加し、18,341百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月7日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,717	9,037
受取手形及び売掛金	7,717	8,129
商品及び製品	17	172
仕掛品	3,341	4,185
原材料及び貯蔵品	385	1,502
その他	2,269	3,227
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	22,444	26,249
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,264	4,694
土地	4,514	4,617
その他（純額）	2,288	2,813
有形固定資産合計	11,067	12,125
無形固定資産		
のれん	1,747	1,444
その他	997	864
無形固定資産合計	2,745	2,308
投資その他の資産		
投資有価証券	484	362
敷金及び保証金	1,392	1,395
その他	1,268	1,428
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	3,124	3,166
固定資産合計	16,937	17,600
資産合計	39,381	43,849
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,366	1,481
短期借入金	4,027	5,501
未払法人税等	1,066	862
賞与引当金	1,855	556
役員賞与引当金	115	—
受注損失引当金	495	315
その他	3,911	7,630
流動負債合計	12,839	16,347
固定負債		
長期借入金	6,456	5,709
退職給付引当金	2,304	2,705
その他	873	745
固定負債合計	9,633	9,160
負債合計	22,472	25,508

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,087	3,087
資本剰余金	6,292	6,292
利益剰余金	7,828	9,157
自己株式	△44	△44
株主資本合計	17,164	18,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	32
為替換算調整勘定	△365	△317
その他の包括利益累計額合計	△307	△285
少数株主持分	51	133
純資産合計	16,908	18,341
負債純資産合計	39,381	43,849

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	31,440	37,249
売上原価	23,501	28,635
売上総利益	7,939	8,613
販売費及び一般管理費	4,606	5,639
営業利益	3,332	2,973
営業外収益		
受取利息	6	8
受取賃貸料	19	14
為替差益	73	128
受取管理料	38	25
その他	24	28
営業外収益合計	163	205
営業外費用		
支払利息	119	114
出資金等持分損失負担額	69	37
持分法による投資損失	7	6
その他	18	27
営業外費用合計	214	186
経常利益	3,280	2,993
特別利益		
固定資産売却益	3	3
関係会社株式売却益	3	—
貸倒引当金戻入額	1	—
特別利益合計	8	3
特別損失		
固定資産除却損	16	8
固定資産減損損失	5	—
投資有価証券評価損	17	—
事務所移転費用	—	113
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	168	—
その他	6	3
特別損失合計	214	126
税金等調整前四半期純利益	3,074	2,870
法人税、住民税及び事業税	2,051	1,515
法人税等調整額	△633	△547
法人税等合計	1,417	968
少数株主損益調整前四半期純利益	1,657	1,901
少数株主利益又は少数株主損失(△)	16	△18
四半期純利益	1,641	1,920

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,657	1,901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△25
為替換算調整勘定	△4	48
持分法適用会社に対する持分相当額	—	0
その他の包括利益合計	△4	24
四半期包括利益	1,652	1,926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,637	1,942
少数株主に係る四半期包括利益	15	△16

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	CRO事業	CMO事業	CSO事業	ヘルスケア 事業	IPD事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,658	10,064	3,277	6,416	23	31,440	—	31,440
セグメント間の内部 売上高又は振替高	250	44	204	132	—	632	△632	—
計	11,909	10,108	3,481	6,548	23	32,072	△632	31,440
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,686	1,233	176	609	△326	4,378	△1,045	3,332

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,045百万円には、セグメント間取引消去等2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,048百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「CRO事業」セグメントにおいて、平成23年5月31日付で、当社がスギメディカルリサーチ株式会社(平成23年6月1日付でシミックメディカルリサーチ株式会社へ商号変更)及びスギ生物科学研究所株式会社(平成23年6月1日付で株式会社シミックバイオリサーチセンターへ商号変更)の全株式を取得いたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては950百万円であります。

「ヘルスケア事業」セグメントにおいて、平成23年5月31日付で、当社がスギメディカルサポート株式会社(平成23年6月1日付でシミックメディカルサポート株式会社へ商号変更)の全株式を取得いたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては54百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	CRO事業	CMO事業	CSO事業	ヘルスケア 事業	IPD事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	13,560	12,943	3,946	6,743	54	37,249	—	37,249
セグメント間の内部 売上高又は振替高	136	41	120	140	—	439	△439	—
計	13,697	12,985	4,067	6,883	54	37,688	△439	37,249
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,569	1,429	8	553	△432	4,129	△1,155	2,973

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,155百万円には、セグメント間取引消去等0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,156百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

当社は平成24年1月4日付で持株会社制へ移行いたしました。これに伴い、2四半期連結累計期間より報告セグメントの利益又は損失の算定方法について、当社（持株会社）に係る全社費用を各報告セグメントに配分しない方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該変更後の算定方法に基づき作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第3四半期連結会計期間
 (自 平成24年4月1日
 至 平成24年6月30日)

(連結子会社株式の一部譲渡)

当社は、平成24年5月1日付で株式会社マッキャン ヘルスケア ワールドワイド ジャパン（以下、マッキャンヘルスケア）に対し、当社連結子会社であるエムディエス株式会社（以下、MDS）の株式を一部譲渡し、マッキャンヘルスケアの医師・製薬会社学術支援部門（以下、CMG部門）をMDSが吸収分割方式により事業譲受する契約を締結し平成24年7月2日付で譲渡いたしました。

(1) 株式譲渡の理由

当社は、MDSを通じて製薬会社のマーケティング支援を行ってまいりましたが、日本の製薬市場がグローバル化される環境下において、更なるサービス対象の拡大とサポート業務の充実による営業支援を目指すために、MDSをグローバルコミュニケーションエージェンシーとの合弁事業とすることが必要との判断に至り、今般MDSの株式を一部譲渡するとともに、マッキャンヘルスケアのCMG部門をMDSと統合することについて両社で合意いたしました。

(2) 株式譲渡した子会社の概要

① 名称	エムディエス株式会社
② 所在地	東京都渋谷区渋谷1-7-7
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 大根田 和子
④ 資本金	160百万円
⑤ 事業内容	医家向け広告及びプロモーション資材の企画・製作
⑥ 大株主及び持分比率	当社（100%）

(3) 株式譲渡先の概要

① 名称	株式会社マッキャン ヘルスケア ワールドワイド ジャパン
② 所在地	東京都渋谷区南青山1-1-1
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 Amar Urhekar
④ 資本金	12百万円
⑤ 事業内容	グローバルヘルスケアエージェンシーの日本法人
⑥ 大株主及び持分比率	株式会社マッキャン・ワールドグループ ホールディングス（100%）

(4) 日程

① 株式譲渡等契約締結日	平成24年5月1日
② 吸収分割及び株式譲渡の日	平成24年7月2日

(5) 株式譲渡後の所有株式数及び所有割合並びに譲渡価格

① 所有株式数	326株（所有割合：100.0%）
② 吸収分割に伴う新株発行	153株（CMG部門の吸収分割対価）
③ 譲渡株式数	91株（譲渡価額：146百万円）
④ 異動後の所有株式数	235株（所有割合：49.1%）

当第3四半期連結会計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
(6) 実施する会計処理の概要 「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、吸収分割及び株式譲渡の会計処理を行う予定です。
(7) 分離した事業が含まれていた報告セグメント CSO事業
(8) 四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額 売上高 1,254百万円 営業利益 145百万円

4. 補足情報

受注の状況
 受注実績

(単位：百万円)

報告セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)		前連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
CR0事業	17,204	23,561	19,927	29,112	21,136	22,745
CM0事業	9,290	2,871	13,670	3,650	12,803	2,923
CS0事業	3,533	2,757	4,646	3,902	5,217	3,203
ヘルスケア事業	9,133	12,004	8,444	13,227	11,312	11,526
IPD事業	23	—	54	—	33	—
合計	39,186	41,195	46,743	49,892	50,503	40,398

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3. CM0事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上しております。顧客からは、年間ベースの発注計画等の提示を受けていますが、確定注文とは異なりますので受注残高には含めておりません。